

私たちは、競争に勝つとか、役に立つとか、我慢強いとか、いわゆる高さや強さや有能さを競い合っている、現代という時代を生きています。

一人ひとりに違いがあり、歩みがあり、尊厳があるのに、自分と立場や考えの異なる他者を見ようとせず、お互いに相手と対話するというをしなくたって、溝ばかりが深まり、人々が分断され孤立していくような状況は、まさに現代社会の闇、いのちの危機的状況といえるでしょう。

その闇のただ中にありながら、なおも、ほどほどの幸せと、さしあたっての無難を願い、それらを喜びとして生きていく私たちのありかた。

なぜそうなってしまったのでしょうか。

考え方や生き方の違う者同士の対話ができる関係や、一人が抱く不安や悩みや弱さを表現できる居場所は、どのようにして成り立っているのでしょうか。

私たち真宗門徒の生き方が問われています。

この同朋大会が、様々な現場で、語り合いの場、学びの場の一步になることを願います。

つながるいのち、託されたいのち



集おういのちのサंगा

ちょっと聞いてこ、お寺で話そ。

日時

2018年5月26日(土)

午前の部：午前10時～(受付午前9時)

午後の部：午後2時30分～(受付午後1時30分)

※午前・午後どちらにご参加いただくかは、お手次のお寺にご確認ください。

会場

難波別院本堂

大阪市中央区久太郎町4-1-11

TEL:06-6251-4720 (大阪教務所)

※当日は会場に駐車できませんので、公共交通機関にてお越しください。

※保育室あります

乳児から小児のお子様を大会中お預かりいたします。ご希望の方は、名前・性別・年齢と共に大阪教務所までご連絡ください。会場は本堂地下南和室を予定しております。

参加費

1,000円

各自お手次のお寺へお申し込みください。なお、当日欠席された場合、参加費は返還いたしませんのでご了承ください。

講師



酒井 義一 氏

さかい よしかず

1959(昭和34)年東京都生まれ。真宗大谷派東京教区存明寺住職。

ハンセン病問題に関する懇談会委員、同朋会館教導、青少幼年センタースタッフ。自坊では、樹心の会、こども会、グリーフケアのつどい等を主宰。

著書に『ハンセン病と真宗』『人間回復への道』(東本願寺出版)など。